

明和町の旧石器時代^{きゅうせっきしだい}

旧石器時代は寒冷な気候で、土器はまだ作られておらず、石器を使った暮らしをしていた時代です。この時代は尖頭器^{せんとうき}と呼ばれる石器を付けた槍などの道具や落とし穴を作って動物を狩るなどして、生活していました。

明和町の歴史は今から約3万年前から始まります。上野にある曾祢^{そね}崎遺跡^{さき}からは三重県内でも特に古いナイフ形石器が発掘調査で見つかりました。

明和町では南部の明星、上村、池村などに旧石器時代の遺跡が多くあります。遺跡があるような台地や段丘の上などでは、地面に石器が落ちていることがありました。

旧石器時代は約1万5000年続き、土器が作られるようになって以降、縄文時代が始まります。



明和町で見つかった旧石器（尖頭器、ナイフ形石器）



明和町文化財解説シート
「明和町の旧石器時代」

約3万年前

旧石器

約1万5000年前

縄文

弥生

古墳

古代

中世

近世 近代



キーワード：旧石器時代尖頭器、ナイフ形石器、丘陵地